

第5・6学年 国語科学習指導案

日時 平成29年 9月27日(水)5校時
児童 第5学年 男1名 女1名 計2名
第6学年 男3名 女2名 計5名
指導者 畑中 有香子

〈第5学年〉

- 1 単元名 和の文化について調べよう
- 2 学習材名 「和の文化を受けつぐ—和菓子をさぐる」
(東京書籍)

3 単元について

(1) 児童について

児童は「動物の体と気候」では、序論・本論・結論、かつ本論部分が三つに分かれている文章構成図や書かれている内容を読み取り、その要旨を的確に捉えることを学習した。文章構成や説明の仕方の工夫、要旨を捉えることはできるようになってきている。また、前学年までの既習事項では、伝えたいことに適した図や表を選んだり引用したりする力、まとめた内容を聞き手を意識して発表する力も少しずつ身に付いてきている。しかし、内容を的確に読み取り、要旨を自分の力でまとめたり、目的を意識して情報を集め、説明や資料の形式を工夫して発表したりする力は十分とはいえない。

話し合う活動は、ペアでの話し合いを行っている。自分の考えを、共通点や相違点、お互いのよさを見つけながら練り合い、一つにまとめていく活動を経験し、学び合うことができている。しかし、読み取ったことをもとに、目的を意識して話し合い、必要な情報を選んでいく経験は少ない。

読書については、並行読書などを通して、様々なジャンルの本に親しみ、興味を広げている。しかし、目的に応じて本や資料を選んだり、説明の工夫や資料の使い方に注目して読んだりする経験は少ない。

(2) 学習材について

本単元は「読むこと」「話すこと・聞くこと」の複合単元である。「読むこと」の学習材「和の文化を受けつぐ」は、伝統的な文化に関するものの中でも想起しやすい和菓子を題材にした序論・本論・結論の構成が明確な文章である。さらに、和菓子を「和菓子の歴史」「ほかの文化との関わり」「支える人々」の三つの観点から説明するという構成であること、写真や図表などの資料が説明に用いられていることは、その後の調べ学習や発表へとつなげやすく、意識して読み進められる。

また「話すこと・聞くこと」では、学習材で読み取ったことを生かしながら、自分が伝えたい「和の文化」について説明する。児童がいろいろな本や資料を使って調べたり考えたりした「和の文化」について、説明の構成に合わせて資料を提示したり、目的に合わせて分かりやすく効果的に伝えたりする。そのため、本学習材は、目的を意識して読み、内容や必要な情報を読み取る力、また、伝えたい内容や目的に合わせて資料や説明の仕方を工夫して発表する力を身に付けることに適している。

(3) 指導にあたって

本単元で育てたい主となる能力は、学習指導要領第5学年及び第6学年の「C読むこと」のウ「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたりすること。」と、「A話すこと・聞くこと」のイ「目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じ

〈第6学年〉

- 1 単元名 町の未来をえがこう
- 2 学習材名 「町の幸福論—コミュニティデザインを考える」
(東京書籍)

3 単元について

(1) 児童について

児童は「イースター島にはなぜ森林がないのか」では、文章の構成をもとに、事実と意見の関係を押さえながら筆者の主張を読み取り、それに対する自分の考えを書くことを学習した。前学年までの既習事項も踏まえて、文章構成や要旨、読者を説得する論の進め方の工夫を捉えること、説明や資料の形式を工夫して発表することは、少しずつ身に付いてきている。しかし、学習材の要旨を捉え、それを生かして自分の考えをもつ力や、集めた情報を取捨選択したり加工したりして効果的に活用しながら発表する力は十分とはいえない。

話し合う活動は、ペアやグループでの話し合いを行っている。考えを伝え合い、共通点や相違点を見つけながら一つに絞っていくことや、お互いの考えを練り合い、まとめていく活動を経験している。しかし、自分の考えを根拠をもって伝えたり、それを生かしてさらに学びを深めたりする力は十分とはいえない。

読書については、並行読書などを通して、様々なジャンルの本に親しみ、興味を広げている。しかし、目的によって本や資料を選定し、必要な情報を得るために視点をもって読むという経験は少ない。

(2) 学習材について

本単元は、「読むこと」「話すこと・聞くこと」の複合単元である。「読むこと」の学習材「町の幸福論」は、コミュニティデザインという考え方の紹介を中心にしながら、「住民の主体的な取組」「未来のイメージをもつ」の二つの観点に基づいて、事例を挙げて分かりやすく述べている。段落ごとのまとまりも理解しやすく、説明内容に対応する写真や図表も、筆者の主張や事例を分かりやすくするために配置されている。そのため、筆者の伝えたいことを確かめ、それを受けて自分の考えをまとめることができる。また、その後のプレゼンテーションの効果的な構成や資料への活用につなげやすくなっている。

また「話すこと・聞くこと」では、町の未来について考えたことを資料を効果的に活用してプレゼンテーションする。そのため、本学習材は、資料から内容や必要な情報を読み取り、その情報を効果的に活用する力、また、伝えたい内容や目的に合わせて調べた情報を取捨選択したり、加工したりしながら、効果的なプレゼンテーションをする力を身に付けることに適している。

(3) 指導にあたって

本単元で育てたい主となる能力は、学習指導要領第5学年及び第6学年の「C読むこと」のウ「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたりすること。」と、「A話すこと・聞くこと」のイ「目的や意図に応じて、事柄が明

適切な言葉遣いで話すこと。」である。また、単元を通じた言語活動として「和の文化に関する本や資料を読んで調べ、和の文化説明会を開く」ことを位置付ける。

児童は説明会で発表するために学習材を読み、内容だけでなく筆者の説明の工夫や資料の使い方などの情報を読み取ることになる。学習材は、和の文化について、三つの観点（歴史、他の文化との関わり、支える人々）から説明する構成であり、さらに、写真や図表などの資料が説明に用いられている。学習材で読み取ったことは、その後の調べ学習や発表する際の資料の活用へとつなげることができる。

このように、説明会を開くことは、複合単元の特性を生かし、領域のねらいを達成することにつながると考える。

第一次では、扉の写真や題名、「和」という言葉からの連想、担任による説明会のデモンストレーションを見ることで関心を高め、学習の見通しをもたせる。その後、「和の文化」について調べたことを4年生に説明することを確認し、説明会に向けて学習計画を立てる。

第二次では、説明会で説明するという目的のために学習材を読む。まず、構成を捉え、筆者の伝えたいこと（要旨）を読み取る。次に、本論でどのような説明をしているか、観点やそれぞれの説明の仕方について、工夫を読み取る。また、本文と写真や図表を関係付けてその効果を読み取る。読み取る際は、筆者の工夫が自分たちの説明にどのように生かせるかを意識しながら読み取らせたい。

第三次では、第二次までに積み重ねてきた学習をもとに、並行読書によって読んできた複数の補助学習材の中から、グループで説明する「和の文化」について選び、必要な情報を集める。並行読書は、学習材で読み取った観点を生かし、説明するために必要な情報が得られるかどうかを意識して読ませたい。また、文章だけでなく、写真や図表等の情報を活用できるかどうか意識させ、説明につながる効果的な読み方をさせたい。その上で、選んだ題材について、自分たちが集めた情報を観点ごとに整理させ、必要な情報を選んだり組み合わせたりして、説明の内容、順序を考えて構成させる。

第四次では、4年生と6年生に向けて説明会を開く。分かりやすかったところ、興味をもったところなどを交流し合い、学習の成果を振り返る。

確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。」である。また、単元を通じた言語活動として「自分たちの村の未来についてプレゼンテーションを行う」ことを位置付けた。

児童はプレゼンテーションをするという目的のために学習材を読み、内容だけでなく筆者の論の進め方の工夫や、効果的な資料の使い方などを読み取ることになる。学習材は、コミュニティデザインという考え方を中心にしながら、大きな二つの視点（住民の主体的な取組、未来のイメージをもつ）に基づいて事例を挙げて述べられている。写真や図表も筆者の主張や事例を理解しやすくするために配置されており、学習材で読み取ったことは、その後のプレゼンテーションに生かすことができる。

このように、プレゼンテーションをすることは、複合単元の特性を生かし、領域のねらいを達成することにつながると考える。

第一次では、扉の写真や題名をもとに、教材文の内容を想像する。また、昨年度の6年生が行ったプレゼンテーションの映像を見ることで、イメージを膨らませ、「村の未来」を考えることに興味・関心をもちさせる。そして、自分たちも九戸村の未来をプレゼンテーションすることを確認し、それに向けて学習計画を立てる。

第二次では、プレゼンテーションをするという目的のために学習材を読む。まず、構成を捉え、筆者の伝えたいこと（要旨）を読み取る。次に、本論でどのような説明をしているか、観点や筆者の説明の工夫について読み取る。また、本文と写真や図表を関係付けてその効果を読み取る。読み取る際は、筆者の考え方や説明の工夫を、プレゼンテーションにどのように生かせるか意識して読ませたい。その上で、学習材を生かし、自分たちは「どんな九戸村にしていきたいか」を考えさせたい。

第三次では、第二次までに積み重ねてきた学習をもとに、並行読書によって読んできた複数の補助学習材（本、自治体から出されている町づくりに関する広報誌、インターネットの資料）を活用しながら情報を収集する。グループでの話し合いを通して必要な情報を取捨選択して構成を考え、資料を効果的に使うための工夫について話し合わせる。また、発表原稿や提案について説得力があるかどうか意識しながら聞き合って、練習を行う。

第四次では、後日地域に向けてプレゼンテーションを行うために、まずは5年生に向けての実践をする。感想を交流し合い、学習の成果を振り返る。

4 単元の目標

(1) 目標

○和の文化について調べて説明するという目的を意識して文章を読み、進んで調べてみたい課題を探したり、資料の提示の仕方を工夫して話したりしようとしている。 【関心・意欲・態度】

◎事柄が明確に伝わるように、説明の構成を工夫することができる。 【話・聞A(1)イ】

◎説明会という目的を意識して、観点や構成に着目し、内容を的確に理解して要旨をとらえ、自分の考えを明確にしながら読むことができる。 【読C(1)ウ】

○「和の文化」について、複数の本や文章を選んで比べて読むことができる。 【読C(1)カ】

○発表原稿の構成について理解することができる。 【伝国(1)イ(キ)】

4 単元の目標

(1) 目標

○町の未来についてプレゼンテーションをするという目的を意識して文章を読み、本、資料から集めた情報や自分の考えを相手に伝えようとしている。 【関心・意欲・態度】

◎目的に応じて、話の構成を工夫し、場に応じた適切な話し方で話すことができる。 【話・聞A(1)イ】

◎プレゼンテーションをするという目的を意識して、観点や構成に着目し、内容を的確に押さえて要旨をとらえ、自分の考えを重ね合わせながら読むことができる。 【読C(1)ウ】

○目的に応じて、複数の本や文章を選んで比べて読むことができる。 【読C(1)カ】

○目的に応じた文章の構成について理解することができる。 【伝国(1)イ(キ)】

5 単元の評価規準

	5 年	6 年
国語への 関心・意欲・態度	○和の文化について調べて説明するという目的を意識して文章を読み、進んで調べてみたい課題を探したり、資料の提示の仕方を工夫して話したりしようとしている。	○自分たちの身近にある町の未来に関心をもち、教材文や本を読んだり調べたりして、その内容を相手に伝えようとしている。
読む能力	◎説明会という目的を意識し、調べる観点や説明の仕方に着目しながら、内容を理解し、自分の考えを明確にして読んでいる。(ウ) ○自分の課題を解決するために、複数の本や文章を比べて読み、必要な情報を選んで読んでいる。(カ)	◎プレゼンテーションをするという目的を意識して、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえ、自分の考えを重ね合わせながら読んでいる。(ウ) ○目的に応じて、複数の本や資料を比べて読み、必要な情報を選んで読んでいる。(カ)
話す・聞く 能力	◎事柄が明確に伝わるように、情報を観点ごとに整理し、説明の構成を工夫しながら資料を活用して説明している。(イ)	◎目的に応じて話の構成や資料の見せ方を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで話している。(イ)
言語についての 知識・理解・技能	○発表原稿のいろいろな構成について理解している。 イ(キ)	○目的に応じた文章の構成について理解している。 イ(キ)

6 単元の指導計画

5 学年 (全 1 4 時間)		時	次	時	6 学年 (全 1 4 時間)	
評価規準(評価方法)	主な学習活動				主な学習活動	評価規準(評価方法)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 本単元の学習について、題名や写真から想像したり、前学年の学習やつながりを考えたりし、児童が主体的に本単元の学習活動に取り組むことができるようにする。 【視点1】 </div>						
【関】 「和の文化」について関心をもち、調べて説明しようという目的を意識して文章を読もうとしている。(発言、行動観察、ノート)	○表紙の題名や写真をもとに、学習材の内容を想像したり、和の文化について知っていることを出し合ったりし、興味・関心をもつ。 ○和の文化について調べ「和の文化説明会」をするために、学習材を読んで調べる観点や説明の工夫を見付けることを確認し、学習の見通しをもつ。 ○学習材を通読し、興味をもったことや疑問に思ったことなどを話し合う。 ○単元を通して並行読書をしていく図書について知る。	1	第一次 学習の見通しを立てる	第一次 学習の見通しを立てる	○表紙の題名や写真をもとに学習材の内容を想像したり、昨年度の6年生のプレゼンテーションを見て、イメージを膨らませたりし、「村の未来」を考えることに興味・関心をもつ。 ○「村の未来についてプレゼンテーション」をするために、学習材を読んで要旨を読み取り、筆者の主張を踏まえて自分の考えをもつということを確認し、学習の見通しをもつ。 ○学習材を通読し、分かったことや興味をもったこと、疑問に思ったことなどを話し合う。 ○単元を通して並行読書をしていく図書について知る。	【関】 学習材の内容に関心をもち、プレゼンテーションをするという目的を意識して文章を読もうとしている。(発言、行動観察、ノート)
	○「序論」「本論」「結論」の文章構成を捉える。 ○序論と結論から筆者の伝えたいことを読み取る。	2	第二次 学習材の工夫を捉えながら読む。	第二次 学習材の工夫を捉えながら読む。	○「序論」「本論」「結論」の文章構成を捉える。 ○序論と結論から筆者の伝えたいことを読み取る。 ○コミュニティデザインについて知る。	
	○本論から三つの観点を捉え、本論1の説明の仕方を読み取る。 ○図表や写真等の資料の効果を考える。	3	第二次 学習材の工夫を捉えながら読む。	第二次 学習材の工夫を捉えながら読む。	○本論1、2の事例から筆者の伝えたいことを読み取る。 ○具体例や図表などの資料の用いられ方とその効果を確かめる。	
	○本論2と本論3の説明の仕方を読み取る。 ○図表や写真等の資料の効果を考える。	4 (本時)			○学習材から読み取った筆者の考えや説明の工夫について振り返る。 ○九戸村の未来について自分の考えをもつ。	

<p>【読】自分が調べたい「和の文化」について、観点別に基づいて調べている。 (ノート、ワークシート)</p> <p>【読】課題を解決するために、複数の本や文章を比べて読み、必要な情報を選んでいく。 (ノート、ワークシート、カード)</p>	<p>○和の文化について説明する際の観点や説明の仕方、説明に用いる資料などについて振り返る。</p> <p>○どんな「和の文化」について発表するかを決め、どの観点で調べるかを考える。</p>	5	<p>第三次 題材と調べる観点を決め、本や資料から必要な情報を集め、説明会の準備をする。</p>	<p>第三次 自分たちが発表する「村の未来」について、複数の本や資料の中から、必要な情報を集め、プレゼンテーションの準備をする。</p>	<p>○グループで話し合い、九戸村の未来についてまとめる。</p> <p>○自分たちでまとめた九戸村の未来について、具体的な提案内容を話し合う。</p> <p>○並行読書してきた本や資料、インタビューなどから、自分たちの提案の参考になりそうな、町づくりの事例を探す。(プレゼンテーションのための情報を集める。)</p>	<p>【読】自分の考えを明確にしなが、複数の本や資料を比べて読んでいく。 (行動、発言、ワークシート)</p>		
	<p>○決めた題材について詳しく調べていく内容と調べる方法について話し合い、計画に沿って情報を集める。</p>	6 7			<p>○集めた情報を、観点ごとに整理したり関係付けたりしながらまとめる。</p> <p>○それらをもとに提案内容を検討し、発表の内容を決める。</p>	<p>【話・聞】調べて分かったことや考えたことを関連付け、発表の内容や必要な資料を考えていく。 (ノート、メモ、発言)</p>		
<p>○個人のカードを持ち寄り、観点ごとに分類し、さらに、必要な情報を集める。</p>	8	<p>○自分たちの提案を伝えるために必要な情報を選ぶ。</p> <p>○発表する時間、順序、担当者等を意識して構成を考える。(構成メモ)</p>			<p>【話・聞】伝えたいことを意識して、発表の構成を考えていく。(構成メモ)</p>			
<p>○情報を選んだり組み合わせたりして、説明の内容や構成を考える。</p> <p>○観点、説明内容、時間、担当者等を構成表に記入する。</p>	9	<p>○発表原稿と発表に使う資料を作成する。</p>			<p>【話・聞】目的に応じて話の構成や資料の見せ方を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで話している。 (行動、発表原稿)</p>			
<p>○発表原稿と発表に使う資料を作成する。</p>	10 11	<p>○提案のよさが伝わるような、説得力のある発表の仕方を意識して練習をする。</p>						
<p>○分かりやすく説明するためのポイントを確認しながら発表の練習をする。</p>	12							
<p>【話・聞】集めた情報を観点ごとに整理して必要な情報を選んだり組み合わせたりして説明する内容を考える。(ワークシート、)</p> <p>【話・聞】事柄が明確に伝わるように説明の構成や資料の使い方を工夫し、よりよい発表の仕方を考えていく。(発表原稿・発表)</p> <p>【言】文章の色々な構成について理解している。(発表原稿)</p>								
<p>○4年生と6年生に説明会を開く。</p> <p>○感想や意見を交流する。</p>	13	<p>第四次 説明会を開き、「和の文化」について調べたことを発表し、感想や意見を伝え合う。</p>			<p>第四次 「村の未来」についてプレゼンテーションを行い、感想や意見を伝え合う。</p>	<p>○5年生の説明会を聞く。</p> <p>○感想や意見を交流する。</p>	<p>【話・聞】聞き手に意図が伝わるように、話の構成や資料の見せ方を工夫して話したり、話し手の意図を捉えて自分の意見と比べながら発表を聞いたりする。 (プレゼンテーション、行動、メモ、発言)</p>	
<p>○6年生のプレゼンテーションを聞く。</p> <p>○感想や意見を交流する。</p>	14				<p>○5年生に自分たちの提案を発表する。後日、地域の方に発信する。</p> <p>○感想や意見を交流する。</p>			
<p>本単元の学習の振り返りを行い、自分自身や友達、他学年の学習について両学年で伝え合う。 【視点1】</p>								

7 本時の指導

(1) 目標

本論2と本論3について、筆者の説明の観点と内容を読み取り、分かりやすく伝えるための工夫を見つけることができる。

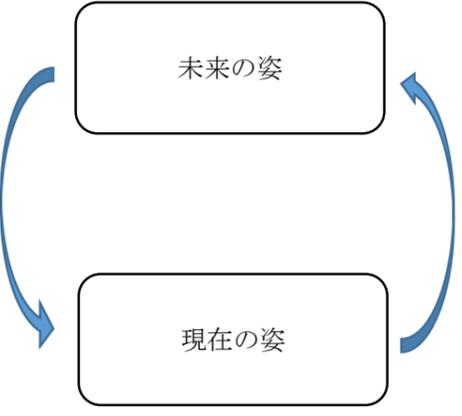
(2) 展開

7 本時の指導

(1) 目標

学習材で読み取ったことを生かし、村の未来についての自分の考えをもつことができる。

段階	5年生		形態	6年生		段階
	指導上の留意点 ○支援 ◎評価	学習活動と学習内容		学習活動と学習内容	指導上の留意点 ○支援 ◎評価	
導入 5分	<p>○前時までの学習を振り返らせた後、本時の学習のめあてを確認させる。</p> <p>○学習の進め方の確認をし、間接指導に入る。</p>	<p>1 前時までの学習を想起する。 【視点1】</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 本論2と本論3から、筆者の説明の観点を読み取り、分かりやすく伝えるための工夫を見つけよう。 </div>		<p>1 学習材を音読する。 (序論①～④と結論⑮)</p> <p>2 前時までの学習を想起する。 【視点1】</p> <p>3 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 「町の幸福論」を生かし、九戸村の未来について自分の考えをもとう。 </div>	<p>○町の幸福に対する筆者の考えに着目して音読させる。</p> <p>○前時までの学習を振り返らせた後、本時の学習のめあてを確認させる。</p>	導入 5分
展開 35分	<p>○本論1を想起しながら、筆者の説明方法に着目して音読させる。</p> <p>○文章構成図を提示し、前時までの学習を手がかりにして進められるようにする。</p> <p>○一人学びでは、話し合う資料に用いるために、観点や具体例を色分けして付箋を貼らせる。</p> <p>○話し合っただけでまとめる際は、自分たちの調べ学習で生かせるように、観点を小見出しにし、内容も短く箇条書きでまとめさせる。</p> <p>○説明の工夫を見付けられずにいるときは、本論1の学習を想起させ、手がかりにさせる。</p> <p>◎【読】自分たちの発表原稿に生かすために、本論2や本論3の観点と、筆者の説明の仕方の工夫を書いている。(読み取りカード)</p>	<p>3 学習課題を解決する。【視点2】</p> <p>(1) 学習材を音読する。 (本論2と3 ⑦～⑮段落)</p> <p>(2) ペアで話し合い、読み取りカードを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人学びで読み取ったことをもとに、ペアで一つのカードを作る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> —本論2— 【観点】ほかの文化との関わり <ul style="list-style-type: none"> ・年中行事 ・茶道 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> —本論3— 【観点】和菓子を支える人々 <ul style="list-style-type: none"> ・和菓子を作る職人たち ・道具や材料を作る人たち ・食べる人 </div> <p>(3) ペアで話し合い、相手に分かりやすく伝えるための工夫を見つけ、読み取りカードに書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> —本論2— <ul style="list-style-type: none"> ・「ほかの文化」を2つ取り上げて説明している。 ・具体例を示している。 ・「例えば」という書き出し。 ・写真が使われている。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> —本論3— <ul style="list-style-type: none"> ・「和菓子を作る人」「道具や材料を作る人」「食べる人」の3つの観点から説明している。 ・「まず」「また」「一方」という書き出し。 ・写真が使われている。 </div>		<p>4 学習課題を解決する。【視点2】</p> <p>(1) 学習材を振り返り、筆者の主張を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【本当に豊かな町】 =人々がつながりを感じる町 ↓ コミュニティデザイン ↓ 【重要なこと】 ○地域の住民が主体的に町作りに取り組むこと ○未来のイメージをもつこと ↓ 方法：バックキャストイング (タイムマシン法) </div> <p>(2) 今の九戸村について考え、どんな九戸村にしたいかイメージをもつ。(一人学び)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今の九戸村について自分の考えをもつ。→現在の姿 【九戸村はどんなところ】 産業、環境、催し物、など 【感じていること】 よいところ 不便なところ、困っているところ 自分なりに捉えた現状を踏まえ、未来の九戸村を思い描く。 →未来の姿 <p>(3) グループで話し合い、自分の考えを広げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> バックキャストイングの図にまとめたものを基にして、考えを話し合う。 	<p>○本時の課題解決に生かすために、前時までの学習を振り返り、筆者の主張を押さえさせる。</p> <p>○町の幸福に対する筆者の考え方を生かし、学習材で読んだ視点を自分達に置き換えて考えさせる。</p> <p>○学習の進め方の確認をし、間接指導に入る。</p> <p>○バックキャストイングの方法を使い、考えを書きださせる。</p> <p>○九戸村の未来をイメージするためのヒントになるように観点を示して考えさせる。</p> <p>○考えを広げるために、共通点や類似点、相違点に着目しながら書いた理由も話し合わせる。</p>	展開 35分

	<p>○本論2と本論3の工夫の良さを見つける際は、その共通点に着目させる。</p> <p>○その工夫をすることで、なぜ分かりやすくなるのかを考えさせ、自分たちの説明に活かせるようにする。</p> <p>○板書に整理し、筆者の説明の仕方の工夫について全体で深めさせる。</p>	<p>(4) 本論2と本論3で見つけた工夫の共通点から、そのよさについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例をいくつか挙げることで、説得力が増す。 ・書き出しを工夫することで聞く人によく伝わる。 ・写真を使うと、聞く人がイメージしやすい。 <p>5 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み取った観点と説明の工夫を振り返り、まとめとする。 		 <p>5 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来の九戸村についての話し合いを受けて、自分の考えを再整理し、まとめとする。 	<p>◎【読】読み取ったことを手がかりに、九戸村の未来について自分の考えをまとめている。(発言、ワークシート)</p> <p>○友達のと比べながら振り返り、次時の学習へとつなげるまとめのために、黒板に掲示する。</p>
終末5分	○学習を通して分かったことや自分たちの説明に生かしたいことなどを書かせる。	<p>6 本時の振り返りをする。 【視点1・2】</p> <p>7 次時の学習内容を確認する。</p>		<p>6 本時の振り返りをする。 【視点1・2】</p> <p>7 次時の学習内容を確認する。</p>	○学習を通して気付いたことや次の学習に生かしたいことなどを書かせる。

(3) 評価

B 自分たちの発表原稿に生かすために、本論2、本論3の観点と、筆者の説明の仕方の工夫を読み取り、カードに書いている。

支援：前時の学習を手がかりにして観点や説明の工夫を見付けるよう助言する。

B 学習材で読み取ったことを生かして、九戸村のよさや課題をもとに未来についての自分の考えを書いている。

支援：学習材を振り返らせ、筆者の考え方を自分に置き換えて考えるよう助言する。九戸村のよさや不便なところを具体的にイメージさせることで、未来の九戸村を考えるための手がかりにさせる。

(4) 板書計画

